



令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果概要

忠岡町教育委員会

令和7年度 全国学力・学習状況調査 忠岡町結果概要公表について

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、

○全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

○学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

○そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 対象学年

○小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、支援学校小学部第6学年

〈大阪府（公立）実施対象校数・児童数 971校・68,102人〉

○中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、支援学校中学部第3学年

〈大阪府（公立）実施対象校数・生徒数 470校・65,298人〉

(3) 調査内容

①教科に関する調査 ・小学校等 【国語・算数・理科】 ・中学校等 【国語・数学・理科】

②質問調査 ・児童生徒に対する調査 ・学校に対する調査

(4) 実施日

令和7年4月17日（木） ※中学校理科は、4/14～4/17の期間内で指定日に実施

(5) 今年度調査の特徴

※教科に関する調査は、国語、算数、数学、理科を実施（中学校理科は、CBT・IRT方式にて実施）

※児童生徒質問調査は、原則全ての児童生徒を対象に、オンライン方式により実施

※紙面で実施する調査の後日実施は、4月18日（金）から4月30日（水）まで実施

(6) 調査を実施した忠岡町の実施校数・児童生徒数

○実施校数 ・小学校：2校 ○児童生徒数 ・小学校：111人

・中学校：1校

・中学校：国語105人・数学106人・理科108人

公表に関する配慮事項について

令和7年度全国学力・学習状況調査実施要領に基づき、次の点に配慮し公表する。

- 忠岡町教育委員会は、保護者や地域の住民に対し、町内における教育及び教育施策に関する説明責任を果たす観点から、調査結果を公表する。
- 本調査の目的及び調査結果が学力や学習状況、生活状況の特定の一部分である。
- 学校ごとの児童生徒の学力の結果が明らかになる公表は行わない。
- 本町は、公立中学校が1校であるため、町教育委員会において公表することが、学校単位の公表となるため、中学校の学力の結果は非公表とする。
- 本町の特徴的な課題と改善方策を公表する。

全体の概要についてⅠ（学力に関する調査より）

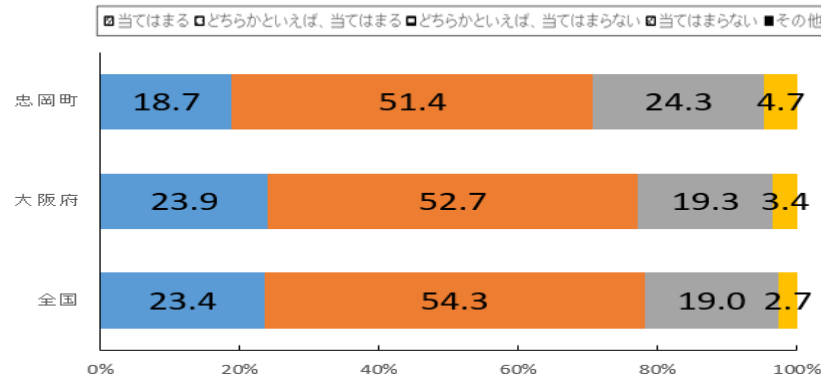
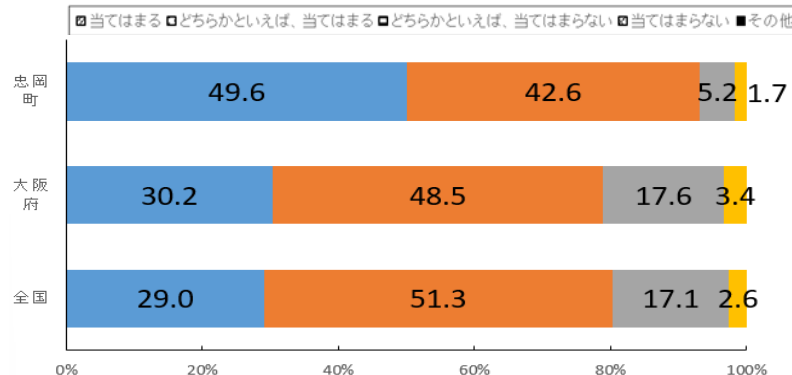
- 【小学校国語】「話すこと・聞くこと」「書くこと」に関する問題については概ねできている。
言語に関する知識・技能や、「読むこと」では、目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることに課題。
- 【小学校算数】資料から必要な情報を選び数量関係を式に表し計算すること、図形についての理解、基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を記述することは、正答率が全国・大阪府よりも高くなっている。
「データの活用」の領域では、目的に応じてデータを選択し、その理由を記述することに課題。
- 【小学校理科】「地球」を柱とする領域では、土の粒の大きさによって水のしみ込み方に違いがあることについては概ね理解している。
電気を通す金属、電磁石の強さ、乾電池のつなぎ方など理科に関する基礎的な知識・技能の習得に課題。
- 【中学校国語】語彙の理解や、「読むこと」では、表現の効果について根拠を明確にして考えることは、正答率が全国・大阪府よりも高くなっている。
「書くこと」では、読み手の立場に立ち自分の考えが分かりやすく伝わるように文章を書くことに課題。
- 【中学校数学】図形に関する用語の意味などは概ね理解できている。
「数と式」「データの活用」の領域では、基礎的な知識と数学的な表現を用いて説明することに課題。
- 【中学校理科】電気回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識・技能を問う問題については概ねできている。
呼吸を行う生物、生命を維持する働きに関する知識について課題。

全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より） ～忠岡町令和7年度の重点取り組みにかかる概要～

①【自ら考え取り組む子を育てる】「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」

小学校においては、肯定的評価「当てはまる」の割合が、全国・大阪府に比べて高く、成果が見られる。

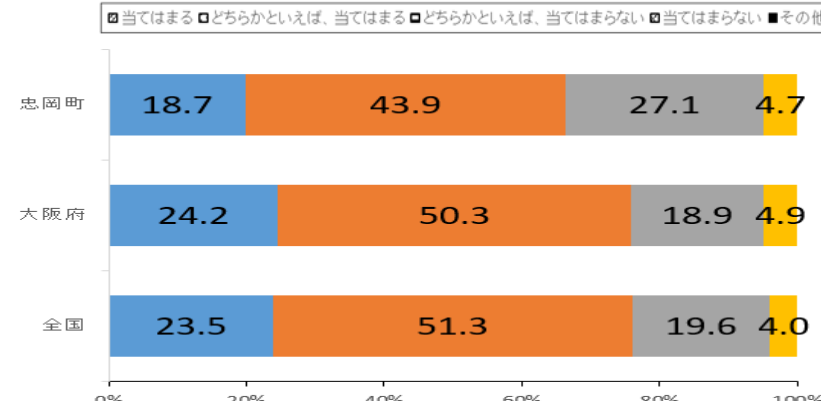
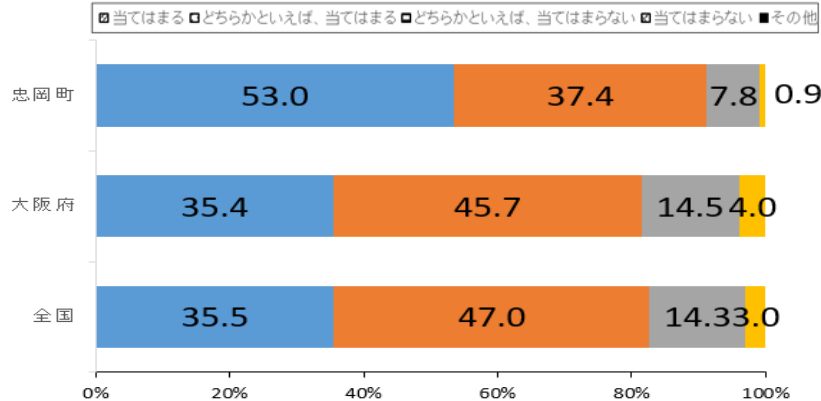
中学校においては、肯定的評価「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合が、全国・大阪府に比べて低く、課題が見られる。



②【自ら考え取り組む子を育てる】「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができますか」

小学校においては、肯定的評価「当てはまる」の割合が、全国・大阪府に比べて高く、成果が見られる。

中学校においては、肯定的評価「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合が、全国・大阪府に比べて低く、課題が見られる。

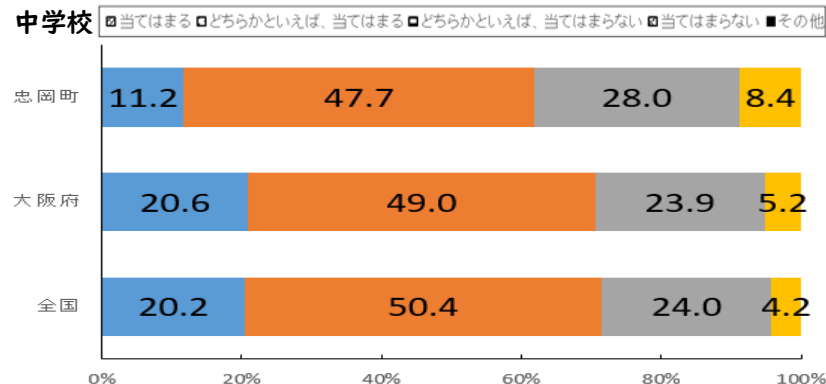
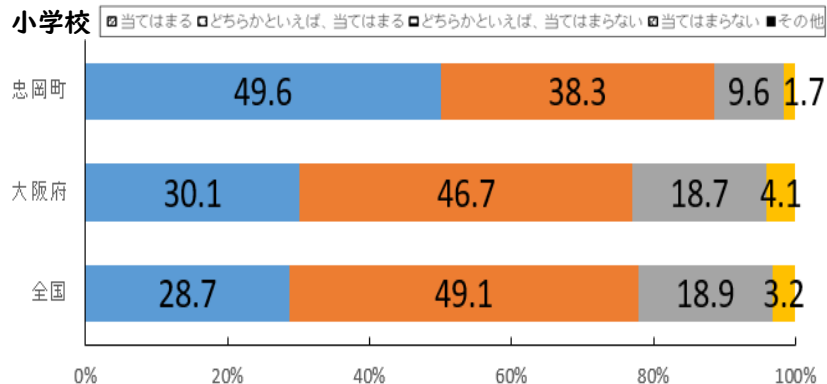


全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より） ～忠岡町令和7年度の重点取り組みにかかる概要～

③ 【授業で自分の考えをまとめ説明や発表ができる子どもをふやす】 「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」

小学校においては、肯定的評価「当てはまる」の割合が、全国・大阪府に比べて高く、成果が見られる。

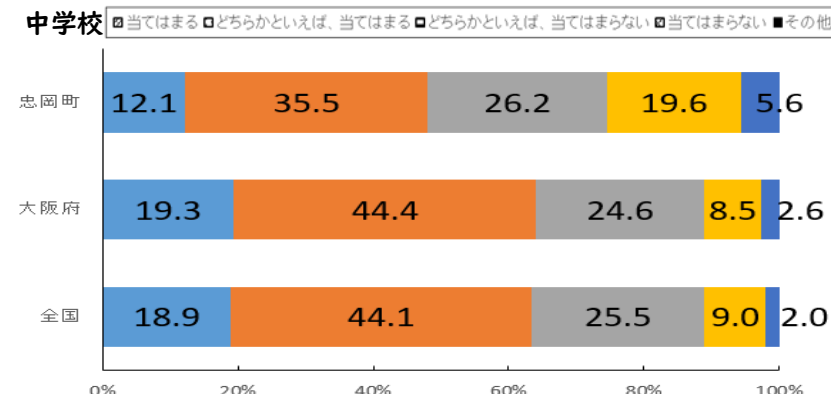
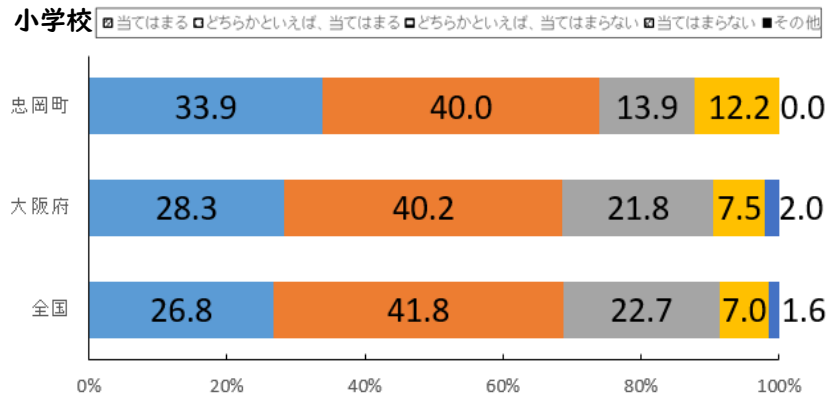
中学校においては、肯定的評価「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合が、全国・大阪府に比べて低く、課題が見られる。



④ 【授業で自分の考えをまとめ説明や発表ができる子どもをふやす】 「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」

小学校においては、肯定的評価「当てはまる」の割合が、全国・大阪府に比べて高く、成果が見られる。

中学校においては、肯定的評価「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合が、全国・大阪府に比べて低く、課題が見られる。



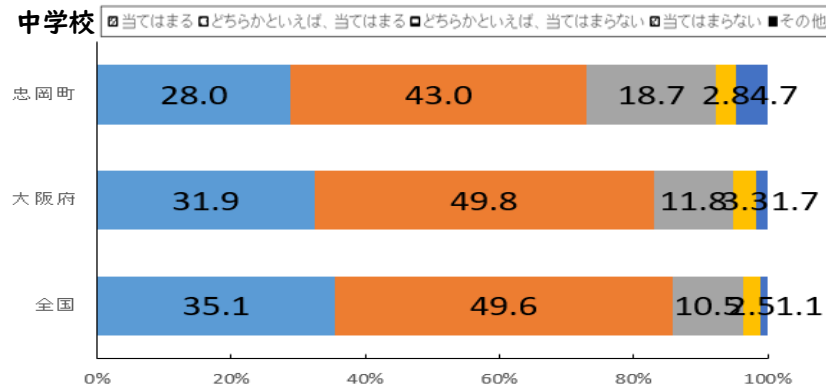
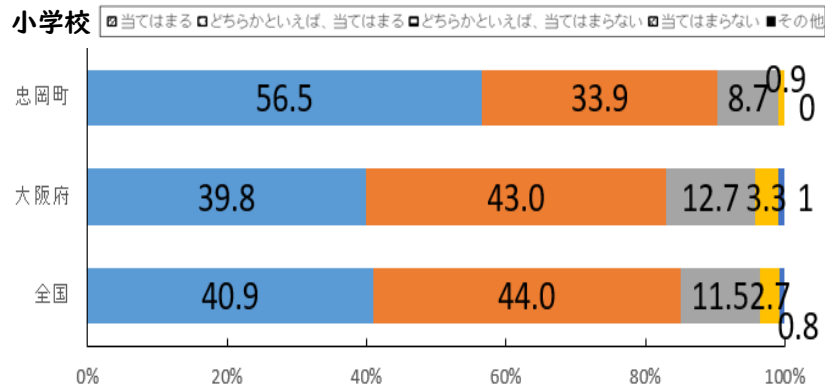
全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より） ～忠岡町令和7年度の重点取り組みにかかる概要～

⑤【授業で自分の考えをまとめ説明や発表ができる子どもをふやす】

「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」

小学校においては、肯定的評価「当てはまる」の割合が、全国・大阪府に比べて高く、成果が見られる。

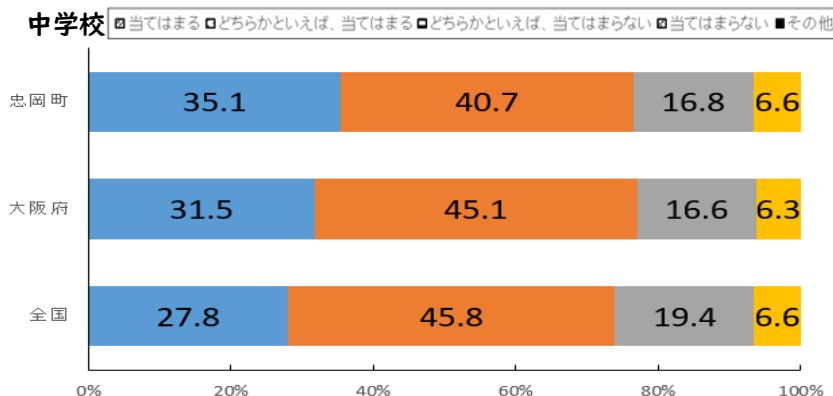
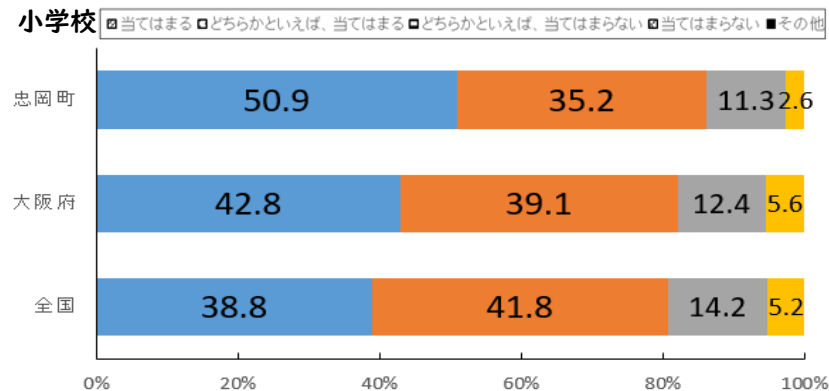
中学校においては、肯定的評価「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合が、全国・大阪府に比べて低く、課題が見られる。



⑥【授業内容がわかる子どもをふやす】

「国語・算数（数学）の授業の内容はよくわかりますか」・・・国語・算数（数学）の合算データ

小学校・中学校ともに、肯定的評価「当てはまる」の割合が、全国・大阪府と比べて高くなっており、成果が見られる。



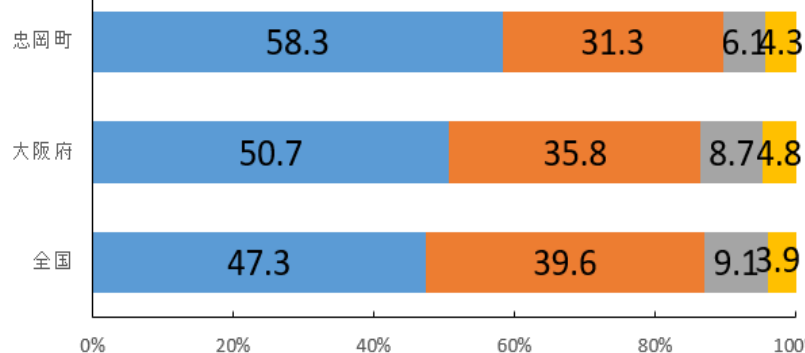
全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より） ～忠岡町令和7年度の重点取り組みにかかる概要～

⑦【自分にはよいところがあると思う子どもたちを育てる】「自分には、よいところがあると思いますか」

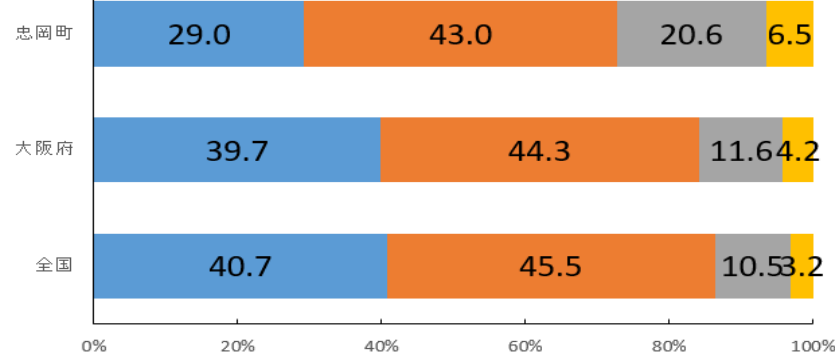
小学校においては、肯定的評価「当てはまる」の割合が、全国・大阪府に比べて高く、成果が見られる。

中学校においては、肯定的評価「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合が、全国・大阪府に比べて低く、課題が見られる。

小学校 □当てはまる □どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない ■その他



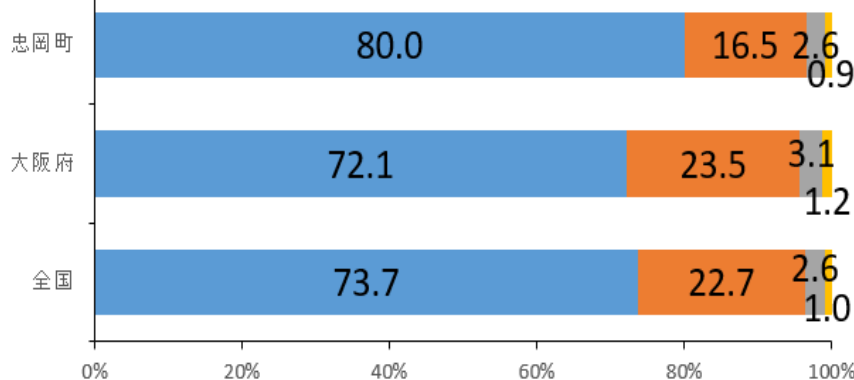
中学校 □当てはまる □どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない ■その他



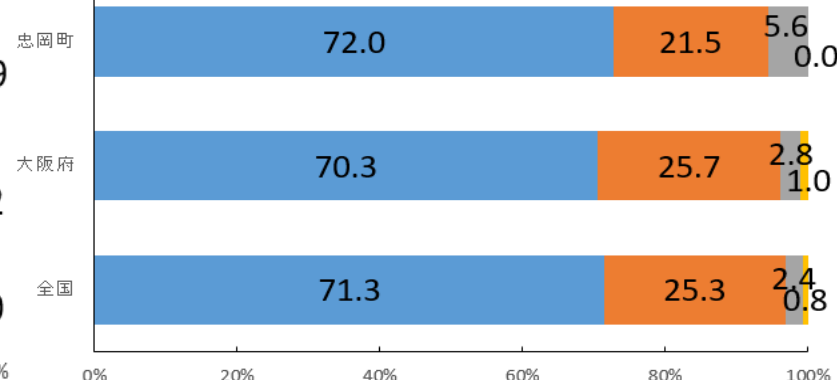
⑧【人の役に立つ人間になりたいと思う子どもたちを育てる】「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」

小学校・中学校ともに、肯定的評価「当てはまる」の割合が、全国・大阪府と比べて高くなっており、成果が見られる。

小学校 □当てはまる □どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない ■その他



中学校 □当てはまる □どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない ■その他



忠岡町における学力・学習状況に関する施策

- 忠岡町授業改善推進事業（全小・中学校）・・・小・中学校における教育内容の充実と指導方法の工夫改善を図っています。
- 学ぶ楽しさを育む推進事業（小１・２）・・・小学校１・２年生児童に落ち着いた学習環境の提供と基礎的・基本的な内容の確実な定着を図っています。
- 忠岡町きめ細やかな指導のための講師配置事業（全小学校）・・・きめ細やかな指導を行うため、非常勤講師を配置して、少人数学級編制を実施しています。
- 学力向上サポーター配置事業（小３・４）・・・基礎・基本の定着を図り、「確かな学力」を育むためのきめ細やかな学習支援を行っています。
- 小学校読書活動推進事業（全小学校）・・・小学校に司書を配置し子どもたちの興味関心を高め、本に接する機会を増やしています。
- 学力検査CRT（小３・４）・・・児童の基礎・基本における学習のつまずきの把握と効果的な指導につなげています。
- 小・中学校児童生徒学校生活意識調査〈Hyper-QU〉（小５・中２）・・・よりよい学級集団づくりに向けた課題を把握することにつなげています。
- 授業力向上支援・・・教員の授業力向上に向けた授業観察、及び指導・助言を行っています。
- 授業力向上のための教員研修・・・教科・領域・校種の枠をこえた授業改善と校内研修を活性化につなげています。
- 忠岡町授業改善に向けての連絡会・・・学力にかかわる情報共有と各校における学力向上を推進しています。
- 小・中学校生徒指導連携会議・・・小・中学校の９年間を見通した取組の共有と連携を推進しています。
- 忠岡町英語教育推進事業・・・外部講師による町立小学校２年生の希望者を対象としたイングリッシュレッスンの提供等を行っています。

The background is a light gray gradient. It is decorated with several realistic water droplets of various sizes, some in the top-left, top-right, and bottom-right corners. In the center, there is a faint, circular crest or seal, likely the school's emblem, which is barely visible.

忠岡町立忠岡小学校

小学校 国語 資料を基に、詳しく文章を書く。

考えられる**成果**

- 与えられた条件を理解する力
- 資料を読み取り文章化する力

正答率が、全国と同程度

これからの指導の方向性

☆力試しテストだけでなく、授業の中でも、国語以外の教科でも、条件を付けた文章を書くことをつづけていく。

成果が見られる設問

2－三

山田さんは、『ちらし』の書き表し方について友達に相談し、『ちらし』の部をくわしく書いたほうがよいと考え、次の『調べたこと』を見直しました。あなたが山田さんなら、どのように書き直しますか。あとの条件に合わせて書きましよう。

考えられる課題

- 文章の構成の意味を理解していない。
- 構成を意識して文章を書いたり読んだりしていない。

正答率が、全国と比べ低い

これからの指導の方向性

☆説明する文章では、構成を工夫することによって、読み手により分かり易いものになることを実感させる。

☆推敲する際に、文章の構成にも着目させるようにする。

課題が見られる設問

2――

一山田さんは、文章の構成をくふうして「ちらし」を書いていきます。山田さんが文章の構成をどのようにくふうしているかを説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

小学校 算数 必要な事柄を判断し、求め方を書く

成果が見られる設問

4ー(2)

このハンドソープの液体と容器を合わせた重さは 270 g でした。

使いかけのハンドソープが空になるまでにあと何プッシュすることができるのかを知るためには、270 g の他に何がわかればよいですか。

下の ア から エ までの中から2つ選んで、その記号を書きましょう。

また、その2つと 270 g を使って、あと何プッシュすることができるのか、その求め方を式や言葉を使って書きましょう。

ア	新品のハンドソープの重さ	360 g
イ	ハンドソープの容器の重さ	60 g
ウ	1プッシュ分のハンドソープの液体の重さ	3 g
エ	かなさんが1日に手を洗う回数の平均	7 回

考えられる成果

●求めるのに必要な数値をよみとり立式する力

正答率が、全国より高い

これからの指導の方向性

☆記述であっても算数では記号的表現(式)が大切であることを、今後も確認しながら、問題解決に取り組ませることを続ける。

☆解決するために必要な数値をよみとる問題を意図的に宿題として取り組ませる。

小学校 算数 必要な事柄を判断し、求め方を書く

課題が見られる設問

3－(3)

(3) 次の数直線のア、イの目もりが表す数を分数で書きましょう。



考えられる課題

●分数の基本的な意味の確実な理解ができていない。

正答率が、全国より低い

これからの指導の方向性

☆分数の意味理解の徹底を図る。

☆これまでに学習した内容を宿題プリントなどで復習を行う。

児童アンケート

課題が見られる設問

(17) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。
(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む。)

考えられる課題

● 学習習慣が身についていない児童が多い。

全くしない及び30分未満の割合が23.1%と、全国と比べて高い。

これからの指導の方向性

宿題などを工夫し、毎日の学習習慣を全ての児童が身に付けられるように取り組みを進める。

児童アンケート

課題が見られる設問

(21) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。
(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。)

考えられる課題

●読書の習慣がない児童が多い。

全国と比べ、読書を全くしない児童の割合が高い。

(41 %)

これからの指導の方向性

音読の宿題の代わりに、読書を宿題にする。
図書の時間を有効活用して、読書の機会や考えの交流を増やす。

児童アンケート

成果が見られる設問

(29-3) あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると思いますか

考えられる成果

●ICTを使って情報整理が出来ている。

全国と比べ、肯定的回答の割合が高い。

84.6%

これからの指導の方向性

いろんな教科で積極的にICT機器を使って情報を整理する機会を設ける。

児童アンケート

成果が見られる設問

(33)5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

考えられる**成果**

●総合的な学習の時間などで、まとめ、発表する活動を行うことができる。

全国と比べ、肯定的回答の割合が高い。

94.9%

これからの指導の方向性

各教科などで学んだことを生活に生かしたり、総合的な学習の時間などでまとめる活動を行う機会をこれまで以上に意識して増やしていく。

児童アンケート

成果が見られる設問

(35) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか

考えられる成果

● 考えを深める話し合いができています。

全国と比べ、肯定的回答の割合が高い。

89.7%

これからの指導の方向性

学習の中で話し合う活動を多く取り入れ、自ら学びに向かう態度を育てていくとともに、内容をより深められるようにする。

児童アンケート

成果が見られる設問

(7) 将来の夢や目標を持っていますか

考えられる**成果**

● 将来を考えて学習に取り組む児童が多い。

全国と比べ、肯定的回答の割合が高い。

97.4%

これからの指導の方向性

今後も学習の動機づけを意識させ、将来の夢や目標ををもって、少しずつ努力を重ねていく大切さを考えさせる指導を続けていく。

児童アンケート

成果が見られる設問

(43) 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか

考えられる成果

● 道徳の授業での深め合いが出来ている。

全国と比べ、肯定的回答の割合が高い。

100%

これからの指導の方向性

今後も、研修や交換授業などを多く実施し、より深まるよう、発問などの質を上げられるようにしていく。

The background of the slide is a light gray gradient. In the top-left and bottom-right corners, there are several realistic-looking water droplets of various sizes, rendered with soft shadows and highlights to give them a three-dimensional appearance.

忠岡町立東忠岡小学校

小学校 国語 【資料1】を読み返して言葉の変化について自分が納得したことを、【資料2】、【資料3】、【資料4】に書かれていることを理由にしてまとめて書く

考えられる課題

- 情報を取捨選択する力
- 目的に応じて、文章と図表などを結び付ける力

正答率	37.0%
無解答率	30.1%

正答率が、全問中最も低く、無解答率が、全問中最も高い。

これからの指導の方向性

- ・シンキングツールを活用して情報を分類し、要点をおさえる練習をする。
- ・学習指導要領にもあるように、低学年は文章の中の重要な語や文を考えて選び出し、中学年は目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約し、高学年は目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりするというステップアップを踏んでいく。
- ・社会などの他の教科でも表の読み取りを行い、表と文章を結び付ける活動を増やしていく。

課題が見られる設問

3三(2)

木村さんは、資料1を読み返して言葉の変化について自分が一番なっとくしたことを、資料2、資料3、資料4に書かれていることを理由にしてまとめることにしました。

あなたが木村さんなら、どのようにまとめますか。次の条件に合わせて書きましょう。

条件

○言葉の変化についてなっとくしたことを資料1から言葉や文を取り上げて書くこと。

○なっとくした理由を資料2、資料3、資料4の中から選び、言葉や文を取り上げて書くこと。

小学校 国語 【ちらし】の文章の構成の工夫を説明したものとして適切なものを選択する

考えられる**成果**

●内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考える力

正答率	69.9%
無解答率	0.0%

正答率が、全国よりも4.4%高い

これからの指導の方向性

- ・引き続きはがき新聞を活用し、文章を要約する機会を多く設ける。
- ・タブレット学習が多くなる中で、文章を読む（読書）機会を多く設ける。
- ・低学年から、初め、中、終わりの文章構成を身に付けさせ、高学年の序論、本論、結論の文章構成へとつなげていく。

成果が見られる設問

2
山田さんは、文章の構成をくふうして「ちらし」を書いています。山田さんが文章の構成をどのようにくふうしているかを説明したものと、最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

小学校 算数 数直線上に示された数を分数で書く

課題が見られる設問

3(3)

次の数直線のア、イの目もりが表す数を分数で書きましょう。



考えられる課題

●数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えること。

正答率	24.7%
無解答率	12.3%

正答率が、全国平均より低い
無解答率が、全国より高い
(正答率 大阪35.4% 全国35.0%)
(無解答率 大阪7.9% 全国7.8%)

これからの指導の方向性

- ・低学年から数直線を活用し、自分で数直線をかけるようにする。
- ・分数を実物を通して実感できる活動を取り入れる。
- ・テープ図やリットルます図と数直線図を結びつけて考える「量から数へのステップ」を繰り返し行い、視覚的に分数の意味を考えさせる活動を行う。

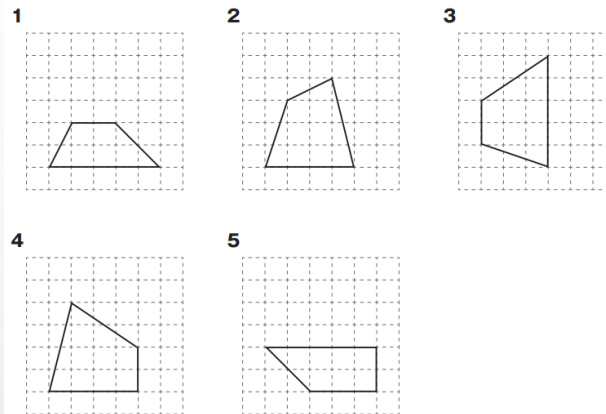
小学校 算数 方眼上の五つの図形の中から、台形を選ぶ

成果が見られる設問

2(2)

わかなさんは、方眼紙に下の1 から5 までの四角形をかきました。

下の1 から5 までの中で、台形はどれですか。3つ選んで、その番号を書きましょう。



考えられる成果

●台形の意味や性質について理解している。

正答率	58.9%
無解答率	1.4%

正答率が、全国平均より高い(大阪 50.4% 全国 50.2%)

これからの指導の方向性

- ・タブレットを活用し、平面図形や空間図形の特徴を視覚的にとらえ、理解できるようにする。
- ・図形の学習においては、どの学年でも実物を活用し、実際に図形を動かす活動を取り入れる。
- ・図形の基礎知識をもとに、平行や垂直、角度や面積などの応用問題に取り組む活動を取り入れる。

児童アンケート

課題が見られる設問

(17) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)。

考えられる課題

● 勉強している児童と、勉強をしていない児童の差が大きく二極化している。

「3時間以上」が21.1%に対して、「30分より少ない」「全くしない」が合わせて34.2%と差が大きい。

これからの指導の方向性

- ・タブレットの持ち帰りを増やし、インターネットや学習支援ソフト等を活用した学習の時間を増やしていく。
- ・「家庭学習チャレンジ週間」を活用し、家庭と連携しながら目安の1時間(学年×10分)を意識づけさせる。

児童アンケート

課題が見られる設問

(21) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)。

考えられる**課題**

●読書の習慣がない。

「全くしない」が43.4%で、「10分より少ない」も合わせると63.1%になる。(全国46.6%)

これからの指導の方向性

- ・図書の時間を毎週確保し、じっくり本を読む時間を取る。
- ・学校司書と連携を図り、図書の時間に読み聞かせ等を実施し、本への興味関心を高める。
- ・いろんな教科でタブレットだけでなく、本を活用した取り組みを行っていく。
- ・「家庭学習チャレンジ週間」に今後も継続して取り組み、より家庭での読書に対する意識を児童・保護者ともに高められるようにする。

児童アンケート

成果が見られる設問

(29-4) あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができますか。

考えられる**成果**

●タブレット活用の充実。

「とてもそう思う」が59.2%で全国よりも20%以上高く、「そう思う」を合わせると90%以上になる。

これからの指導の方向性

- ・質問28を見ると、タブレットの使用頻度は、全国と比べても差はあまりないが、この設問は全国よりも大きく上回っている。効果的にタブレットを活用できていることがわかる。引き続き、タブレットを有効的に活用するために、教材等を精査して取り組んでいく。
- ・3校で共有している情報活用能力を再度校内で共有し、各学年でタイピングやプレゼンテーションの練習に取り組んでいく。

児童アンケート

成果が見られる設問

(33)5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。

考えられる**成果**

●はがき新聞の活用。

「とてもそう思う」が48.7%で全国よりも20%高い。

これからの指導の方向性

- ・「ふりかえり」の仕方を再度確認し、ふりかえりの充実を図る。
- ・はがき新聞を活用し、いろんな教科で自分の考えをまとめる活動を取り入れていく。
- ・自分の考えを伝えたり、他者の考えを知る手立てとして、ICTを積極的に活用していく。
- ・思考ツールを活用し、自分の考えをまとめる手段を身につけさせる。

児童アンケート

成果が見られる設問

(35) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。

考えられる成果

- ビブリオバトルの実施。
- 話し合いのルールの徹底。

「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」を合わせると90%以上になる。昨年度は75.9%で全国よりも低かったが、今年度は全国を大きく上回っている。

これからの指導の方向性

- ・話し合いのルールを低学年から徹底して取り組む。
- ・ペア、グループ、クラス全体など場面に合わせた様々な形での話し合いを実施していく。
- ・ビブリオバトルを継続的に取り組んでいく。
- ・学級力向上プロジェクトの中で、「スマイルタイム」を実施し、自己理解と他者理解を進めていく。
- ・話し合い後に、自分の考えの深まりや新たな気づきを実感できるような振り返りの時間を設定する。

児童アンケート

成果が見られる設問

(5) 自分には、よいところがあると思いますか。

考えられる**成果**

●縦割り活動(3年目)などを通して、自己肯定感が高くなった。

「当てはまる」が65.8%で、全国よりも大きく上回っている。(全国47.3%)

これからの指導の方向性

・縦割り活動も3年目に入り、「レインボータイム」の取り組みを通して、成功体験や自分の役割意識を感じられる場が増えた結果、自己肯定感・自己有用感を高めることができる。引き続き縦割り活動を通して、自己肯定感・自己有用感を高めていく。

・「ほめる」だけでなく、「理由を持ってほめる」であったり、校内で取り組んでいる「学級力向上プロジェクト」を推進し、学級の中で自分が輝ける機会をたくさん設け、自分のよさのみならず、学級の友だちのよさを見つけることで相乗効果を促していく。

児童アンケート

課題が見られる設問

(国1) 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。

考えられる課題

●書くことに苦手意識を持っている児童が多い。

「書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた」が23.3%と高い。(全国14.3%)

これからの指導の方向性

- ・書く問題について苦手意識を持つ児童が多いので、普段の授業から書く活動を効率的に取り入れていく。
- ・文の組み立ての型を提示し、文の書き進め方の練習をしていく。
(結論→根拠など)
- ・朝学習などを通して、文字数制限の中で記述する活動に慣れさせる。

忠岡町立忠岡中学校

考えられる成果

- 物語の内容を正しく読み解く力
- 表現の効果について根拠を明確にして考える力

正答率 83.8 %
無解答率 0 %

正答率が大阪府・全国平均より高く、無解答者なし

大阪府:79.3%
全国:80.0%

これからの指導の方向性

- 物語の全体構成や、場面の展開などをとらえる学習活動を行う。
- 場面の展開と、登場人物の心情の変化、行動描写などを関連づけて読む指導を行う。

成果が見られる設問

3

「一 榎木の実」の〰〰〰線部が、物語の始めに示されていることによる効果を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 語り手が読者に、榎木の実に関する経験を問うことによって、二人の兄弟の相互関係に関心をもたせる効果。
- 2 語り手が読者に、榎木の実に関する経験を問うことによって、榎木の実にまつわる物語に関心をもたせる効果。
- 3 語り手が読者に、兄弟や家族との関係を問うことによって、二人の兄弟の相互関係に関心をもたせる効果。
- 4 語り手が読者に、兄弟や家族との関係を問うことによって、榎木の実にまつわる物語に関心をもたせる効果。

中学校 国語 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く

考えられる課題

- 条件を理解し、解答する力
- 自分の考えを明確にして書く力

正答率	13.3%
無解答率	3.8%

大阪府と比べ、正答率に一番の差があった問題(差－14.5%)

これからの指導の方向性

- 文章内容、問われている内容を正しく捉える。その上で、自分の考えを根拠をもとに説明する力を育てる。
- 考えを表現する力を育てるため、記述問題に触れる機会を増やしていく。

課題が見られる設問

1

四 今年の美術展では、昨年の美術展に来場した小学生の感想をもとに内容を工夫しています。中井さんは、そのことを【ちらし】(更新版②)の の部分に書き加えることにしました。あなたならどのように書きますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 今年の美術展の【工夫】のA、Bから1つ選び(どちらを選んでもかまいません。)、それと結び付く小学生の【感想の一部】をアからウまでの中から1つ選び、それぞれ塗りつぶすこと。

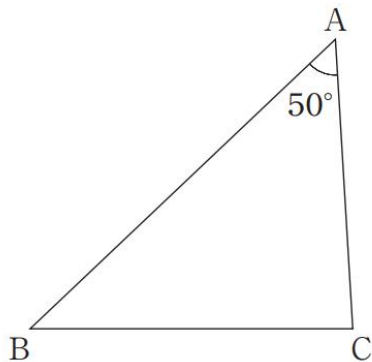
条件2 条件1で選んだ、今年の美術展の【工夫】と小学生の【感想の一部】との関係が分かるように、接続する語句や指示する語句を使って書くこと。

中学校 数学 多角形の外角の意味を理解しているかどうかをみる

成果が見られる設問

3

下の図の△ABCで、頂点Aにおける外角の大きさを求めなさい。



考えられる成果

- 多角形の外角の意味を理解している。

正答率 56.6%

無解答率 6.6%

正答率が大阪府平均に
比較的近い

大阪府: 60.7%

全国: 58.1%

これからの指導の方向性

- 既習事項を単なる知識に留めることなく、角度を求める問題においてどのように利用することができるのかが重要である。知識を角度を求める複雑な問題へつなぐことができるよう、しっかりと判断ができる授業づくりを進めていきたい。
- 小テストなどで、類似問題に触れながら繰り返し取り組んでいく。

中学校 数学 事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげることができるかどうかをみる。

課題が見られる設問

6

結菜さんと太一さんは、3、6や12、15のような連続する2つの3の倍数の和がどんな数になるかを調べるために、次の計算をしました。

$$\begin{array}{ll} 3、6 \text{ のとき} & 3 + 6 = 9 \\ 12、15 \text{ のとき} & 12 + 15 = 27 \\ 30、33 \text{ のとき} & 30 + 33 = 63 \end{array}$$

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 結菜さんは、これらの計算の結果から、「連続する2つの3の倍数の和は、いつでも9の倍数になる」と予想しました。

しかし、この予想は成り立ちません。この予想が成り立たないことを下のように説明します。下の□①から□③までに当てはまる整数をそれぞれ書き、説明1を完成しなさい。

説明 1

連続する2つの3の倍数が、例えば、□①、□②のとき、□① + □② を計算すると、和は □③ となり、9の倍数ではない。

したがって、「連続する2つの3の倍数の和は、いつでも9の倍数になる」という予想は成り立たない。

考えられる課題

- 比較的長い文章の問題の時、何を問われているのか、何を解答しないといけないのかが解っていない。
- 反例をあげての説明に慣れていない。

正答率 44.3% 無解答率 17.0%

全国と比べ、正答率に一番差のあった問題(差－18.5%)

これからの指導の方向性

- 比較的長い文章の問題の時、重要な語句を抽出し、何を問われているのか、何について解答しなくてはならないのかを判断できる力を育成する必要がある。
- 反例をあげる等、根拠を示し、事柄について論理的に説明する力をつけることができる授業づくりに努める。

生徒アンケート

成果が見られる設問

(9)いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

考えられる成果

●いじめに対して、正しい理解が身についている。

	当てはまる	どちらかと言えば、当てはまる	どちらかと言えば、当てはまらない	当てはまらない	その他	無回答
忠岡中学校	82.2	14.0	2.8	0.0	0.0	0.9
全国	77.1	18.8	2.7	0.8	0.0	0.5

これからの指導の方向性

●肯定的回答が96.2%となっており、学校として取り組んでいる「いじめについて考えよう週間」など活動が生徒自身が「いじめは絶対に許されるものではない」とした正しい理解が浸透していると考えられる。しかし、昨年度に比べ、肯定的回答が減少傾向であるため(昨年度:97.5%)、班活動を中心とした仲間づくりを進め、安心できる学習環境、学級づくりにつなげていく。

生徒アンケート

考えられる**成果**

- 郷土愛の醸成
- 社会貢献への意識の向上

成果が見られる設問

(27) 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

	当てはまる	どちらかと言えば、当てはまる	どちらかと言えば、当てはまらない	当てはまらない	その他	無回答
忠岡中学校	24.3	42.1	23.4	9.3	0.0	0.9
全国	22.4	52.9	18.8	5.6	0.0	0.3

これからの指導の方向性

●強肯定回答が全国平均を上回っている(忠岡中学校:24.3%、全国:22.4%)。学校で取り組んでいるキャリア教育等を通じ、将来に目を向ける意識が育ってきていると考えられる。地域と連携したクリーンキャンペーンなど、自分たちの行った行動が地域・社会にどのような効果をもたらすのか子どもたち自身に体験させながら考える機会を与えていくことを検討していく。

生徒アンケート

課題が見られる設問

(17) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。
(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む。)

考えられる課題

● 全くしないと回答している生徒が、15%もいる。

	3時間以上	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	30分より少ない	全くしない	その他	無回答
忠岡中学校	9.3	16.8	22.4	15.9	19.6	15.0	0.0	0.9
全国	9.9	20.9	30.8	19.1	11.3	7.7	0.0	0.4

これからの指導の方向性

● 普段から勉強に取り組んでいる時間が全くないと回答した生徒の割合が全国と比べて高い(忠岡中: 15.0%、全国: 7.7%)。普段から3時間以上勉強に取り組んでいる生徒の割合は、全国比と大きな差はない(忠岡中: 9.3%、全国: 9.9%)。家庭学習定着に向け、一人一台タブレットの活用など取り組んでいく。また、進路学習を通じて、勉強をする意味を位置づけ、勉強を全くしない生徒の割合を減らしていく。

生徒アンケート

成果が見られる設問

(21) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。
(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。)

考えられる成果

●1時間以上読書をしている生徒が全国平均を上回っている。

	2時間以上	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	10分以上、30分より少ない	10分より少ない	全くしない	その他	無回答
忠岡中学校	5.6	8.4	6.5	6.5	8.4	60.7	0.0	3.7
全国	3.6	6.0	11.8	19.0	14.8	41.8	0.0	3.1

これからの指導の方向性

●普段1時間以上読書をする生徒の割合が、全国平均を上回っている(忠岡中学校:14.0%、全国:9.6%)。読書をすることで、「問題を読む」力にもつながり、長文読解力や無解答数の減少につながると考える。図書館活用も検討しつつ、読書をする習慣の大切さに気づかせたい。

生徒アンケート

課題が見られる設問

(29-2)あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができますか。

考えられる課題

●肯定的回答が全国平均に比べ、下回っている。

	当てはまる	どちらかと言えば、当てはまる	どちらかと言えば、当てはまらない	当てはまらない	その他	無回答
忠岡中学校	43.0	43.0	7.5	5.6	0.0	0.9
全国	48.4	43.1	6.4	1.1	0.0	1.1

これからの指導の方向性

●全国平均と比べ、肯定的回答が大きく下回っている(忠岡中学校:86.0%、全国:91.5%)。わからないことに会った際に「調べる」習慣を身につけさせることが大切である。授業を中心に調べる習慣を身に付けさせていくとともに、タブレットの利活用を進め、子どもたちの活用能力の向上につなげたい。

生徒アンケート

課題が見られる設問

(33) 1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。

考えられる課題

● 肯定的回答が、全国平均を大きく下回っている。

	当てはまる	どちらかと言えば、当てはまる	どちらかと言えば、当てはまらない	当てはまらない	その他	無回答
忠岡中学校	11.2	47.7	28.0	8.4	0.0	4.7
全国	20.2	50.4	24.0	4.2	0.0	1.1

これからの指導の方向性

● 全国平均と比べ、肯定的回答が大きく下回っている(忠岡中学校:58.9%、全国:70.6%)。教師から生徒へ考えさせる発問の工夫などを行うとともに、班活動やペア活動を取り入れ、自分の考えを表現する時間を授業内で増やしていく。

生徒アンケート

課題が見られる設問

(35)学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。

考えられる課題

●肯定的回答が、全国平均を大きく下回っている。

	当てはまる	どちらかと言えば、当てはまる	どちらかと言えば、当てはまらない	当てはまらない	話し合う活動を行ってない	その他	無回答
忠岡中学校	28.0	43.0	18.7	2.8	4.7	0.0	2.8
全国	35.1	49.6	10.5	2.5	1.1	0.0	1.2

これからの指導の方向性

●全国平均と比べ、肯定的回答が大きく下回っている(忠岡中学校:71.0%、全国:84.7%)。忠岡中学校で継続して取り組んでいる、授業中の話し合い活動や班活動をさらに充実させていく必要がある。今後も取組みを継続していくとともに、班活動で仲間づくりを進め、話し合い活動の活性化につなげたい。